

WISPJ ミクロ研究班第4回研究会議事録

1. 開催日時：2007年12月11日14:00～
2. 開催場所：26号館303号室
3. 出席者（敬略称）：政治経済学術院 寄本・鄭

環境・エネルギー研究科 吉田

環境総合研究センター 増原

上智大学 片野

事務局 上野・土江

4. 議題：

- 1) 寄本より武蔵野市・紀南市・津山市のごみ処理施設選定に係る
住民参加の方式等に関して報告がなされた。

吉田「武蔵野市の場合は市長―住民間での意見交換が積極的になされた良い事例だが、その時反対住民を結集させる作用はなかったのか」

寄本「武蔵野ではそういう事例は見られなかった」

吉田「この様な地域紛争は時代・市民・行政・地域性によっても違うのだと思う。その地域紛争の解決方法要素を分析してまとめるのは早稲田WISPJミクロ班として意義のある事ではないだろうか」

「サステナビリティ学という学問を構築するには、どうしたら環境がよくなるのかだけではなく、努力しているのに何故環境は良くならないのかを深く議論していく必要がある」

「寄本先生が手がけてこられた事例を参考にして、廃棄物処理施設を巡るいくつかの地域紛争のパターンを分類整理することは意味があるのではないか。それがミクロ研究班の活動にふさわしい成果になるように思う。片野さんにもその作業を手伝っていただきたい。」

- 2) 増原より研究進捗報告がなされた。

前回の指摘を受けての修正項目。

生活系廃棄物排出量の因子による影響を統計データ（民力指数）を使用し作業中。

片野「このデータは自治体のデータを大前提としてやっているが、自治体のデータはかなり脚色されているものがある。始めから色分けしてやっていってはどうか」

増原「検討項目として考えてみる」

吉田「大都市・中市・小都市になるかでわかる場合もあるのではないだろうか」
上野「また、有料化している都市・時期・年度でも異なっていくのではないか」

3) 鄭より研究進捗報告がなされた。

前回の指摘を受けてのアンケート案の修正報告。それを受けての更なる修正事項について協議がなされた。

アンケート費用見積・挨拶状の製作について報告・協議がなされた。

アンケート封入作業等はアルバイトを雇い作業すること。

宛先は、市レベルの約800団体とし、1月中での発送予定とする。

4) 事務局連絡

上野・土江より12月20日、1月30日にそれぞれ開催されるシンポジウムについて報告がなされた。

5) 次回開催について

2008年1月を目処に開催予定。(別途連絡)